

☆☆☆ マンモグラフィ検診の対象にならない方 ☆☆☆

検診は自覚症状のない方を対象にしています。

以下にあてはまる方は最寄りの外科または乳腺外科を標榜する専門の医療機関でご相談または受診していただけますようお願いいたします。

1. 自覚症状のある方（しこり、乳頭からの分泌、乳頭の湿疹様変化など）

過去に診察をうけ、変化がなければ撮影は可能です。既往歴へご記入下さい。

自覚症状のある方は医療機関で医師の診察のもと、症状にあった必要な検査（超音波、細胞診、MRI等）を受けたいいただく必要があります。速やかに医療機関を受診してください。

2. 乳房の疾患で治療中、経過観察中の方

受診している医療機関にて病変の変化がないか経過観察をお願いします。経過観察が終わった方は検診受診が可能です。

3. 乳がん手術後・治療後の方（**良性疾患等で片側乳房の全摘出手術をされている方も含みます**）

読影では両方の乳房を比較しています。片側乳房の場合、写真だけで判定するため微細な変化がわからないことがあります。また乳がんの手術・治療後の方の乳房は乳腺内が大きく変化しているため、病変を発見することが困難になります。経過観察終了後の方も専門の医療機関でご相談下さい。

4. **豊胸手術（脂肪注入や注射も含む）をされている方、乳房内に異物（人工物など）が入っている方（V-Pシャントも含みます）**

豊胸術などで乳房内にシリコンや自分の脂肪、ヒアルロン酸注射など異物が入っている方は、異物が邪魔になり望ましい写真が撮れません。従って微細な所見が写真に写らないことがあります。また強く圧迫するため、人工物が壊れてしまう可能性があります。

※胸郭内（骨の内側）に設置してある人工血管やステント、骨折固定のプレートなどは問題ありません

5. 授乳中の方、断乳後1年以内の方

授乳中は乳腺が発達し、病変が写りにくい状態です。断乳後約1年後から検診を受診可能です。

6. 妊娠中、または妊娠の可能性のある方

X線を使用して撮影しますので、妊娠中や可能性がある方（不妊治療中の方）は受けられません。

7. 40歳未満の方（年度で40歳になる方は受診可能です）

若い方は乳腺が豊富で乳房が硬く張っていますので、良い写真が撮りにくいと考えられています。よって今のところはマンモグラフィ検診には不向きであり、超音波検診が望ましいと思われる。

8. ペースメーカーが設置されている方

乳房内に脳・心臓のペースメーカーが体内に設置されているかたについては、ペースメーカーに配慮した撮影を行なう必要があるため、安全面からも医療機関での受診をお願いします。

上記以外で皮膚や乳房に外傷があり圧迫できないなど問診スタッフや技師が危険、撮影不可能と判断した場合はお断りすることがあります。ご了承下さい。